

5. ISO/IEC 17065の改正について

1 ISO/IEC 17065 改正の経緯

- 2024年1月にISO/IEC 17065:2012の改正に関する定期見直し投票（SR: Systematic Review）が実施され、2024年6月に“確認（confirmed）”とすることが決定（確認:35、改正:32、棄権:8）され、改正は見送られた。
- その後、古い用語をISO/IEC 17000:2020の用語に整合させることなどを理由に、2024年9月にANSIより追補改正作成に関する提案があり、9月25日から12月18日までの委員会内投票の期間を経て、賛成多数で追補の開発が決定した。（承認:58、反対:14、棄権:21）
- 追補改正案の審議過程において、その発行形式に関する審議が行われ、結果としてISO/IEC 17065:2012に追補を取り込んだ統合改訂（ISO/IEC 17065:2026予定）に決定した。

2 ISO/IEC 17065 追補改正の作業範囲

1. ISO/IEC 17000:2020の用語を反映する。

- ISO/IEC 17000:2004は2020に改正されている
（JIS Q 17000:2005も2022に合わせて改正されている）

2. ISO/IEC 17065の8.8項（予防処置）を削除し、現行のCASCO PROC 33:2020と整合するために「リスク及び機会に対処するための処置」という条項に置き換える。

- 近年発行/改正されているCASCO規格はcommon elements for ISO/CASCO document/PROC 33 (2020)に基づいて作成されており、複数の適合性評価を行う機関の混乱及び効率化（例：マネジメントシステム統合）への対応

3. ISO/IEC 17021へのすべての参照を更新し、旧ガイドへの参照を更新する。

- 引用規格、参照規格の更新、廃止されたガイド23及び27の参照削除 等

5. ISO/IEC 17065の改正について

2026.6.26
ARCB定期会議資料

3 ISO/IEC 17065改正の今後の流れ

- 近日 FDIS（統合版）投票開始予定
- 2026年7～8月頃 ISO/IEC 17065:2026 発行見込み

4 登録認証機関への確認事項

- (1) 国際規格の改正状況等をご存じでしたか？
- (2) 国際規格の改正に伴い必要な措置はありますか？